

CITIZEN®

ホールクロック

高感度電波時計 取扱説明書 (チャイム音報時付時計)

～ 製品の特長 ～

- ❖時刻を合わせて出荷していますので、すぐにご使用になれます。
- ❖2つの標準電波（40 kHz、60 kHz）とAMラジオ放送（時報）の3つの電波に対応。
- ❖より受信しやすいAMラジオ放送を利用することで受信範囲が広がりました。
- ❖チャイムを選んで報時させることができます。

もくじ

1. 商品について	1	10. 報時機能の設定	7
2. 安全にお使いいただくために	2	(明暗センサーのはたらき)	
3. 電池・時計の廃棄	2	11. 電波を受信できないとき	8
4. お手入れについて	2	(手動での時刻合わせ)	
5. 高感度電波時計について	3	(電波受信機能のON/OFF)	
(標準電波の送信停止について)		12. 電池の交換時期お知らせ機能	9
(海外でのご使用について)		13. 月齢表示(4RN4 1 6のみ)	9
(電波を受信しにくい環境について)		14. おもな製品仕様	10
6. 設置	4	アフターサービスについて	裏表紙
7. 付属部品の取り付け(重すい、振り子)	4	(お問い合わせ先)	
8. 電池を入れて時計を動かす	5		
(アドバイス 振り子の動かし方)			
9. 受信の流れと受信表示ランプの見かた	6		
(内蔵電池による時刻のバックアップ)			

重要

- 製品は重量がありますので設置は2人以上で行ってください。
- この時計は時刻を合わせて出荷しております。時刻合わせボタンを押すと時刻が変わってしまいます。手動で時刻を合わせるとき以外は押さないでください。

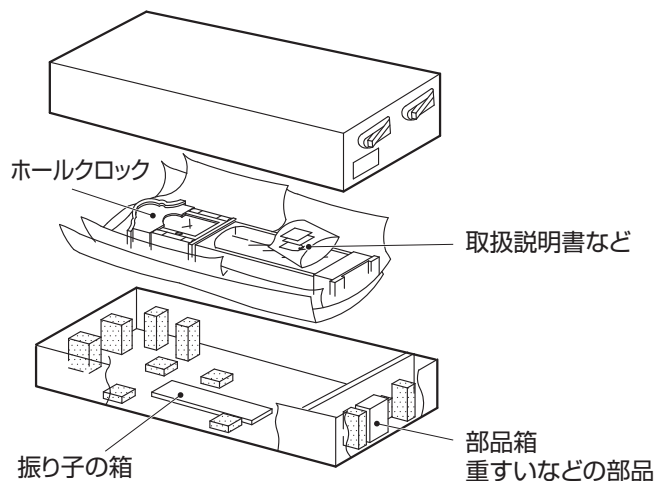
1. 商品について

この取扱説明書は5種類のホールクロック用になっています。

時計の機能は同じで、付属品やその取り付け方法などが異なります。

ホールクロック固有の取り扱いについては、型番（製品番号）を明示してあります。

付属部品の梱包例



この時計は、時刻を合わせて出荷しております。
出荷後は、内蔵電池により時を刻み続けていますので、設置後に表示用の電池を入れれば時刻を表示します。

*時刻合わせボタンは押さないでください。押すと時刻が変わります。

*設置前に設置する所でAMラジオ放送（推奨NHK第1放送）が明瞭に受信できることを確認してください。

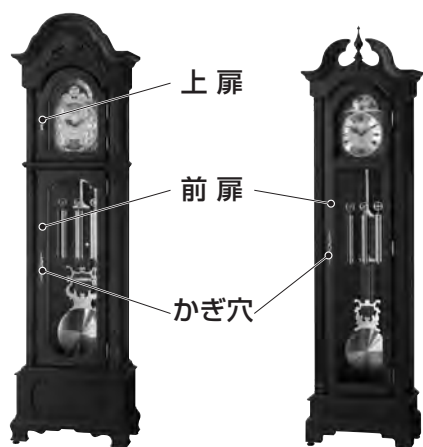
商品別操作部の位置および付属品

前扉はかぎで固定されています。

操作部と電池ホルダーは時計正面から見て左側の扉内にあります。

4RN416

4RN417



月齢表示付き（4RN416）

「13. 月齢表示を合わせる」

付属品

振り子	1	滑車飾り	3	重すい	3
かぎ	1				

前扉は、フックで固定されています。

操作部は時計正面から見て右側面にあります。

電池ホルダーは前扉を開け、文字盤を手前に開くとあります。

4RN418

4RN419

4RN420



付属品

振り子	1
重すい	3

付属品

振り子	1
重すい	2

付属品

振り子	1
重すい	2

共通の付属品

転倒防止用の部品（木ねじ、ヒートン、鎖	各1個）
電池	2個
取扱説明書	本書
保証書	1枚

2. 安全にお使いいただくために

この注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示しています。

❗は、指示する行為を必ずすることを示しています。

⚠ 警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容



誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。



電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけたり、分解したりしない。
- 電池に充電しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱したり、火の中に入れたりしない。



電池から漏れた液に触れない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 液漏れた場合は、漏れた液に直接触れないようにして、電池を外して布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される内容



浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない

さびの発生や故障の原因になります。



分解したり改造しない

分解禁止

けがや故障の原因になります。



強い振動や衝撃を与えない

禁止

故障や破損の原因になります。



下記のような場所では使わない。

禁止

品質や精度の低下、部材の変形、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が -10°C 以下または $+50^{\circ}\text{C}$ 以上の所。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- ガスの発生する所。（プール、温泉場など）
- 多くの油を使用する所。（調理場など）
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

3. 電池・時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定に従ってください。

●電池を分別して廃棄してください。

4. お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。



5. 高感度電波時計について

高感度電波時計とは

日本標準電波の40/60 kHz にAMラジオ放送（時報）を加えた3種類の電波で時計を正確な時刻に修正する仕組みです。

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

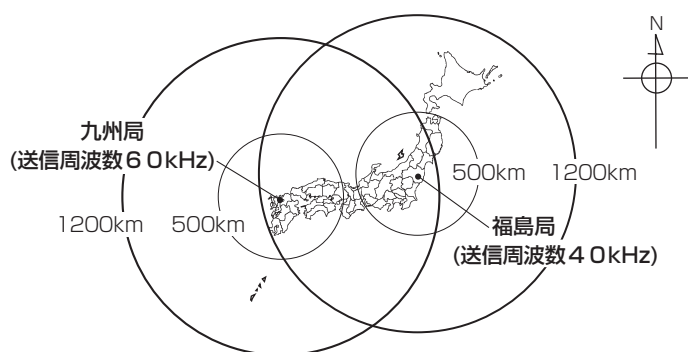
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。（<http://jjy.nict.go.jp>）

標準電波の受信可能な範囲

送信所からおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

AMラジオ放送（時報）とは

NHKの第1放送などで毎正時に流れる時報のことです。NHKの時報は日本標準電波の時刻情報に基づいて正確に送信されています。

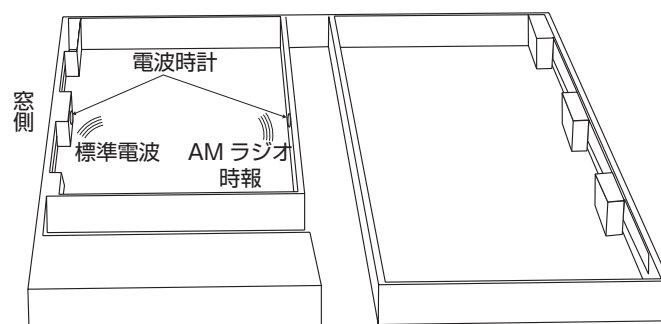
AMラジオ放送（時報）の特長

日本各地に放送局があり、大きな出力で送信されております。標準電波が届きにくい所でも受信することが可能です。

※時報は番組により送信されないことがあります。

受信しやすいAMラジオ放送を利用することにより、標準電波が受信しにくかったオフィスやマンションなどでも時計の設置範囲が広がりました。

※お手持ちのラジオで、設置しようとしている所でNHK第1放送などが明瞭に受信できることを確認してください。



電波を受信しにくい環境について

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

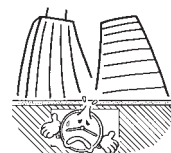
標準電波が受信しにくい所

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く



AM 時報電波が受信しにくい所

- 窓のないデパートのフロア
- 大規模オフィスの窓から遠く離れた所
- 地下
- 家電量販店などノイズが多い所



6. 設置

○設置場所は、水平で安定した所をお選びください。

設置場所の床が毛足が長いじゅうたんや畳など不安定な所では転倒するおそれがあります。

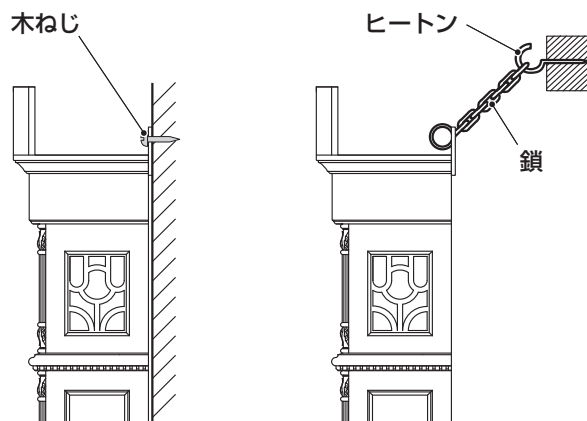
○AMラジオ放送（推奨NHK 第1放送）が明瞭に受信できる所をお選びください。

標準電波とAMラジオの両方が受信できない場合は、時刻の自動修正が行えないためクォーツ精度となります。

転倒防止

時計は垂直に設置して、地震などにより時計が転倒しないように、時計頭部の止め金具をしっかり止めてください。

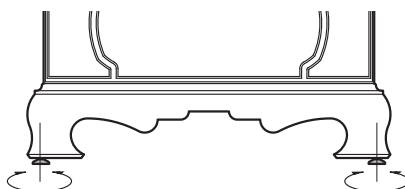
（木ねじによる固定例）（鎖による固定例）



○付属の木ねじおよびヒートンが使用できる壁面は木の柱または木質の厚い壁面です。それ以外の壁面（石こうボード、コンクリート、薄い化粧ベニアなど）には使用できません。このような所に設置する場合は、壁面の材質に合った市販の金具をご使用ください。

4RN416、4RN417 のぐらつきの修正

時計がぐらつく場合は、時計底面の足を回して調節をしてください。



7. 付属部品の取り付け（振り子、重すい）

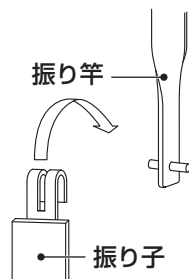
※振り子と重すいは装飾用です。

Ⅰ 振り子の取り付け

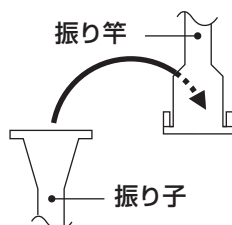
振り子を先に取り付けてください。

振り竿が時計内に厚紙と画びょうで固定されていますので、これを取り外して振り子を正しく掛けます。

4RN416、4RN417 の場合

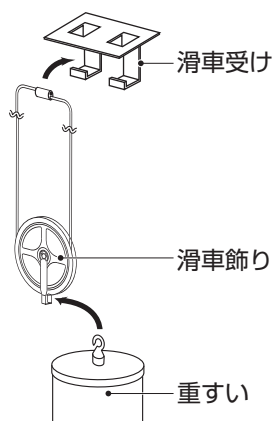


4RN418、4RN419、4RN420 の場合



Ⅱ 重すいの取り付け

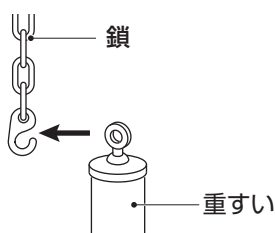
4RN416、4RN417 の場合



①図のように振り竿の手前にある3つの滑車受けに、滑車飾りを正しく掛けます。

②滑車飾りに重すいを正しく掛けます。

4RN418、4RN419、4RN420 の場合



重すいが落ちないようにしっかりと掛け、鎖を引いて重すいを好みの高さに合わせてください。

8. 電池を入れて時計を動かす

この時計は時刻を合わせて出荷しておりますので、表示用の電池を入れて強制受信ボタンを押してください。強制受信ボタンを押してから8分以内に時刻を表示します。

※時刻を表示する前に12時、4時、8時のいずれかに一時停止します。

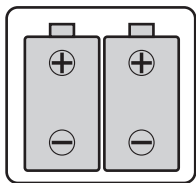
※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。

※「10. 報時機能の設定」(p.7)を行ってお使いください。

〈表示用電池の入れかた〉

単1形アルカリ乾電池を電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて2個入れてください。

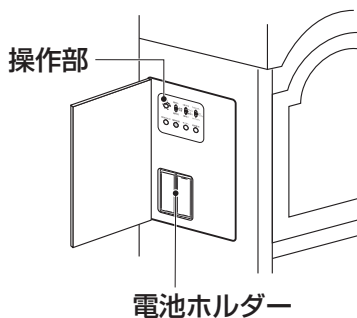
※⊕⊖を逆向きに入れると電池の液漏れ、発熱、破裂の原因になります。



※電池ホルダーや操作部の位置が商品により異なります。

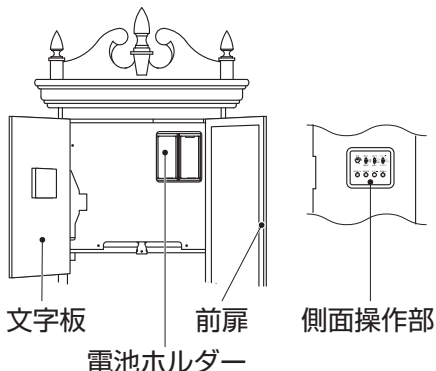
■ 4RN416、4RN417

操作部と電池ホルダーは、時計正面から見て左側の扉内にあります。



■ 4RN418、4RN419、4RN420

電池ホルダーは、前扉を開け、文字板面を開けると見えます。操作部は、時計正面から見て右側にあります。



この時計は正しい時刻に合わせるために次のことを行っています。

①福島局または九州局から送信されている標準電波の受信を試みます。

②①が失敗したときには、AMラジオ放送(時報)の受信を試みます。

受信結果は、受信表示ランプで確認することができます。

強制受信ボタンを押して、15分以上経過してから確認してください。

2秒に1回点滅：標準電波の受信に成功。

5秒に1回点滅：AMラジオ放送の受信に成功。

10秒に1回点滅：標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中

消灯：標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない。

※「9. 受信の流れと受信表示ランプの見かた」(p.6)

※標準電波またはAMラジオ放送の受信に失敗している場合は、1週間程度後に受信表示ランプで状態を確認してください。

通常の針の動き

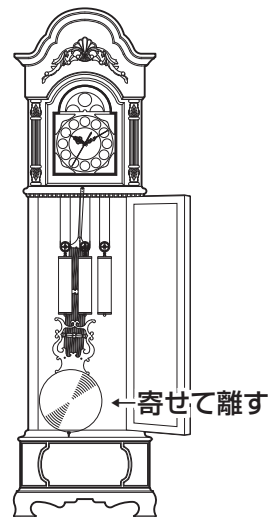
時計・分針：10秒に1回動きます。

秒針：滑らかな1秒ステップ。

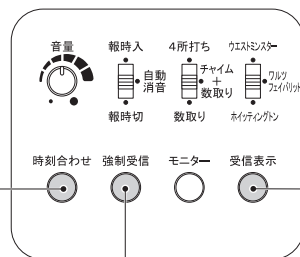
※自動受信で時刻を修正するときは、早送りしたり、停止することがあります。

アドバイス 振り子の動かしかた

電池を入れても振り子が動かないときは、振り子を側面いっぱい動かして手を離してください。時間が経過すると安定した動きになります。



(操作部)



強制受信ボタン

電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに使用します。

時刻合わせボタン

不用意に押すと時刻が変わります。標準電波、AMラジオ放送の受信ができないときや任意の時刻に手で時刻を合わせるときに使います。

9. 受信の流れと受信表示ランプの見かた

受信の進行状態や受信結果は受信表示ランプで確認することができます。

- 時間の流れ ↓
- ①表示用電池を入れて、強制受信ボタンを押す
およそ1秒間受信表示ランプが点灯して12、4、8時のいずれかに一時停止してから、保持している時刻に針が早送りで移動を開始します
4回点滅：福島局選択 6回点滅：九州局選択 消灯：福島・九州局ともに電波弱
 - ②時刻情報の読み取り中 最長で15分程度……標準電波の状態が受信表示ランプでわかります
▶点灯：電波良好 ▶消灯：電波の状態が悪い ▶ときどき点灯 電波状態が不安定
(受信できる可能性大) (受信できない) (受信できない可能性大)
 - ③標準電波の受信結果を表示
2秒に1回点滅：標準電波の受信成功 必要に応じて表示時刻を自動修正する。
10秒に1回点滅：標準電波の受信失敗→AMラジオ放送の受信モードになる。
 - ④標準電波・AMラジオ放送の受信結果を表示
2秒に1回点滅：標準電波の受信に成功。
5秒に1回点滅：AMラジオ放送の受信に成功。
10秒に1回点滅：標準電波受信失敗、AMラジオ放送を受信を継続中
消灯：標準電波、AMラジオ放送とも受信できない。

*AMラジオ放送の受信は、標準電波が受信できないときに行います。受信状態になってから連続7日間受信できないときは、AMラジオ放送の受信を停止します。

*標準電波の受信に成功するとAMラジオ放送の受信は停止します。

*強制受信ボタンを押すとAMラジオ放送受信停止が解除されます。

ご注意

- この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報(プツ、プツ、プツ、ポーン)のことです。放送局によっては、時報音が異なったり、時報を流さないことがあります。
- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- AMラジオ放送の受信状態のときにも、標準電波の受信を試みます。
- 受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正確ではありません。
- 受信しやすいAMラジオ放送局の順に受信を試みます。
- AMラジオ放送の受信は、受信チャンスが1時間に1回のため、受信に時間がかかります。1日当たりの最少受信回数は1回、最多受信回数は8回です。

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻み続けています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。

表示用電池を取り外したり電池が切れのときには、内蔵電池に切り替わり時を刻み続けます。

※内蔵電池のみでは、時刻表示、受信表示ランプの点灯 / 点滅をしません。

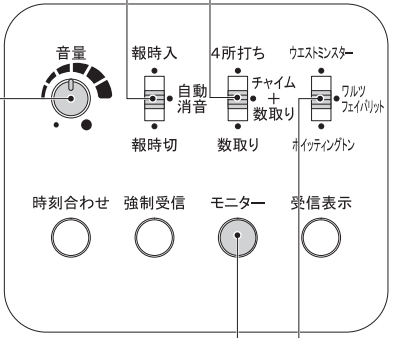
※表示用電池により、時刻表示をしているときには内蔵電池を使いません。

※電波受信機能が「OFF」のときは受信を行いません。

10. 報時機能の設定

報時を使用するには、①～③のスイッチを設定し、音量つまみで音の大きさを調節してください。

チャイム音の選択や音量を調節するときには、モニターボタンを使用して音を試聴しながら行ってください。



The diagram shows a control panel with the following components: a volume knob (音量), a '報時入' (Clock On) switch, an '自動消音' (Auto Mute) switch, a '4所打ち' (4-point strike) switch, a 'チャイム' (Chime) switch, a '数取り' (Number taking) switch, a 'ウエストミンスター' (Westminster) chime selector, a 'フルツフェバリット' (Fuller's Favourite) chime selector, a 'ホイットニングトン' (Whittington) chime selector, a '時刻合わせ' (Time setting) button, a '強制受信' (Forced reception) button, a 'モニター' (Monitor) button, and an '受信表示' (Reception display) lamp.

① 報時スイッチの設定 報時機能のON/OFFを設定します。

報時入 : 常に報時する。
自動消音 : 明暗センサーと連動。暗くなると自動的に報時を停止する。
報時切 : 報時を停止する。

② 報時形式スイッチの設定 報時のしかたを選ぶことができます。

4所打ち (0分、15分、30分、45分)
0分 : チャイムを1曲奏でます。
15分毎 : 15、30、45分と時刻が進むに従い演奏が長くなります。

チャイム+数取り
毎正時にチャイムを1曲奏で、その後時刻に対応した数で鐘が鳴り、時刻をお知らせします。

数取り
毎正時に時刻に対応した数の鐘が鳴ります。

◎報時する音は電子音です。

③ チャイム選択スイッチ 報時するチャイム音の種類を選択します。

①ウエストミンスター・チャイム
②フルツフェバリット・チャイム
③ホイットニングトン・チャイム

音量つまみ (音量の調節)
音量つまみを回して調節することができます。報時モニターボタンを押し、報時している間に音量つまみを回して調節します。

🔄 右に回す：大きくなる
🔄 左に回す：小さくなる

モニターボタン (報時音の試聴)
モニターボタンを押すと報時形式スイッチとチャイム音スイッチに対応した報時音を奏でます。報時は時計が指している時刻に対応します。

例：3時35分のときは3時の報時音が鳴ります。

※「4所打ち」が選択されているときは、0分、15分、30分、45分と続けて演奏します。

※演奏中にモニターボタンを押すと停止します。

明暗センサーのはたらき.....暗くなると秒針停止、受信表示ランプ消灯

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置で停止し、受信表示ランプが消灯します。

また、報時スイッチが「自動消音」に設定されていると報時が停止します。

昼間や夜間の照明時などでも明るさが不足するとセンサーが反応します。

※十分に明るい所で秒針が常時12時位置に停止する場合は電池の交換が必要です。

🔋 「12 電池の交換時期お知らせ機能」(p.9)

11. 電波を受信できない場合

1. 標準電波、AMラジオ放送ともに受信できない……受信表示ランプ消灯

AMラジオ受信機で、設置した所でAMラジオ放送（推奨NHK第1放送）が明瞭に受信できるかを確かめてください。

明瞭に受信できる場合

表示時刻と正しい時刻との差が4分を超えているとAMラジオ放送の時報が受信できません。手動で正しい時刻に合わせてから、強制受信ボタンを押して1週間程度後に受信結果を確認してください。

明瞭に受信できない場合

AMラジオ放送を明瞭に受信できる所に時計を設置しなおして、強制受信ボタンを押してください。

AMラジオ放送を明瞭に受信できない所でお使いになるときは、手動で時刻を合わせてお使いください。

2. 標準電波が受信できない

受信表示ランプが5秒に1回点滅していれば、AMラジオ放送の受信に成功していますので、標準電波を受信できなくても正しい時刻を表示しています。

手動での時刻合わせ……………受信できないときや任意の時刻に合わせてるとき

受信できない所や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、時刻合わせボタンで時刻を合わせることができます。時間精度はクォーツ精度になります。

操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りします。

※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を修正します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンが押されている間停止します。

時刻合わせボタンを離したときにゼロ秒に設定され、秒針が動き出します。

秒針が12時以外に停止しているときは、その時刻になると動き出します。

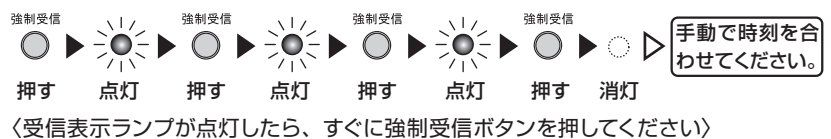
電波受信機能のON／OFF

誤受信しやすい所で使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには

図のように強制受信ボタンを4回押します。

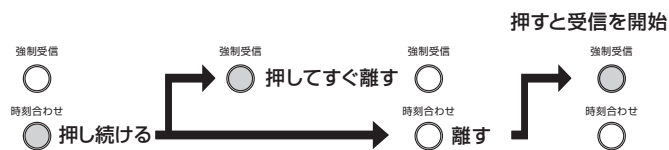
ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。

※表示用の電池を取り出しても設定を保持していますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

※工場出荷時の設定は、電波受信機能がONになっています。

12. 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が 12 時位置で停止して報時を停止します。

時針および分針はこのような状態になってから約 1 ヶ月間時刻を表示し続けますが、お早めに電池を交換してください。

電池を交換した後に、必ず強制受信ボタンを押してください。

⚠ 注意 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いていても 1 年に 1 回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- 電池の ⊕ ⊖ を逆に入れない。



■ 電池の種類について

- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

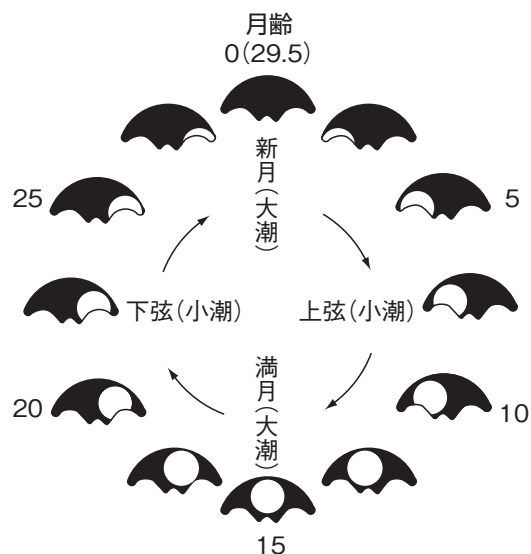
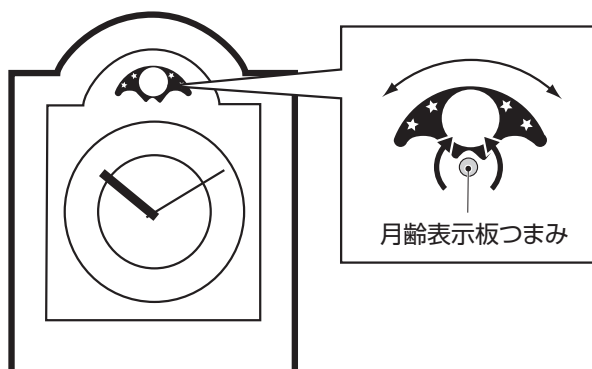
■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていきますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

13. 月齢表示 4RN416のみ

月齢表示板つまみを回して月齢を合わせます。

- 月齢表示により、月の満ち欠けと潮の満ち干の関係がわかります。
- 月齢は新聞の「あすの暦」などをご覧ください。
- 時計と月齢表示は連動しません。



14. おもな製品仕様

使 用 温 度 範 囲	−10～50℃ *結露しないこと
時 間 精 度	電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 電波を受信しない場合 平均月差±20秒 常温中のクォーツ精度
使 用 電 池	表示用 単1形アルカリ乾電池 JIS規格 LR20 2個
	内 蔵 コイン形リチウム電池 CR2032 1個
電 池 寿 命	表示用 約1年
	内 蔵 約5年 工場出荷時より *通常の使いかたでは交換の必要はありません。
暗 所 秒 針 停 止	明暗センサーに連動して12時位置に停止
電池交換時期お知らせ機能	秒針が常時12時位置に停止
標 準 電 波 受 信 機 能	標準電波を受信して時刻を修正
受 信 局	福島局40kHz／九州局60kHz 自動選択
自 動 受 信 回 数	最少 1回／日 最多 6回／日
自 動 受 信 時 刻	2、3、4、12、13、14時 各時間帯の08分20秒
AMラジオ時報受信機能	標準電波が受信できないときに受信して時刻を修正
受 信 周 波 数 帯	約 518～1615kHz
自 動 受 信 時 刻	3～6時、23～2時
手 動 時 刻 合 わ せ	ボタン操作にて可能
報 時 機 能	設定された条件により電子音でお知らせ
報 時 切 替	常時ON／OFF／暗所自動停止 いずれか1つを選択方式
報 時 形 式	4所打ち(15分間隔)／チャイム＋数取り／数取り いずれか1つを選択方式
報 時 音	3種類からの選択方式
音 量 調 節	ロータリー式ボリューム
振 り 子 ／ 重 す い	装飾用 *時間精度には影響を与えません

●製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。

本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

CITIZEN®

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（時計の枠など）の修理には、類似代替品の使用で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。

修理の内容や出張費用により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です

This product is intended for the Japanese market.

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム時計工業株式会社

お客様相談室

（フリーダイヤル）

0120-557-005

受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。例 4RN〇〇〇